

第 38 回サイトプロテクション研究会 (WEB 開催) 変更プログラム

2020 年 8 月 26 日 (水) 10 : 10 ~ 15 : 15 メルパルク京都

開会の辞 10 : 10 ~ 10 : 15

当番世話人 : 市川 尊文

萌芽的研究 I 10 : 15 ~ 10 : 55

萌芽 2 胆汁酸は大腸上皮細胞に発現する TGR5 を介して上皮の創傷治癒を遅延させる

○東祐圭、内山和彦、井上健、鎌田和浩、高木智久、内藤裕二
京都府立医科大学

萌芽 3 ストレス負荷マウスに対する酸分泌阻害薬投与の影響と機序

○高嶋信吾、田中史生、藤原靖弘
大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学

萌芽 4 Gut-Liver axis を標的とした NASH 治療戦略

○中西啓祐、鍛冶孝祐、吉治仁志
奈良県立医科大学消化器・代謝内科

萌芽 5 B 細胞活性化因子の非アルコール性脂肪性肝疾患モデルマウスにおける肝脂肪化への影響

○中村由子、阿部雅則、三宅映己、渡辺崇夫、吉田理、小泉洋平、廣岡昌史、
徳本良雄、日浅陽一
愛媛大学大学院医学系研究科消化器・内分泌・代謝内科学

萌芽的研究 II 11 : 00 ~ 11 : 40

萌芽 7 酸刺激によるラットの十二指腸の PGE₂ 濃度変化の検討

○藤村忠宏¹、近藤隆¹、段 韶琪²、戸澤勝之¹、富田寿彦¹、大島忠之¹、
福井広一¹、岡田啓希³、戴毅²、三輪洋人¹

¹兵庫医科大学病院内科学消化管科、²兵庫医療大学薬学部、³小野薬品工業株式会社水無瀬研究所

萌芽 8 O-GlcNAc 修飾は FOXM1 を安定化することで癌の進展に働く

○上田康裕 小嶋融一 竹内利寿 樋口和秀

大阪医科大学第二内科学教室

萌芽 9 社会的敗北ストレス後の社会的行動の決定因子に対する探索的検討

○伊藤史穂、笠原恵美子、森本建揮、羽根雅人、中村あゆみ、升谷美月

堀美香、野々村瑞雅、川口拓都、平泉香織、関山敦生

大阪大学大学院薬学研究科

萌芽 10 マクロファージのサイトカイン分泌におけるアドレナリンの役割の検討

○平泉香織、羽根雅人、笠原恵美子、堀美香、野々村瑞雅、竹中美月

川口拓都、関山敦生

大阪大学大学院薬学研究科先制心身医薬学寄附講座

休憩 11 : 40 ~ 12 : 00

ランチョンセミナー 12 : 00 ~ 13 : 00

座長 : 樋口 和秀

(大阪医科大学第二内科)

「消化管粘膜傷害の病態と治療の進歩」

内藤 裕二

(京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学)

共催 : 大塚製薬株式会社

武田薬品工業株式会社

総会 13 : 00 ~ 13 : 15

一般演題 13 : 15 ~ 13 : 45

一般 1 HFD マウスにおける ASBTi の NAFLD 改善効果について

○松井將大、朝井章、岡本紀夫、安岡秀高、横濱桂介、大濱日出子、土本雄亮、
福西新弥、樋口和秀

大阪医科大学第二内科

一般2 バレット食道のバレット腺癌リスクマーカーPDZK1の抗アポトーシス能増強作用
○半田修¹、半田有紀子¹、合田杏佑¹、福嶋真弥¹、平松和恵¹、萩原喜美子¹、村尾高久¹、藤田至彦²、梅垣英次¹、塩谷昭子¹

¹川崎医科大学消化管内科学、²近畿大学医学部ゲノム生物学教室

一般3 カルシウムイオン濃度は正常ヒト表皮におけるセマフォリン3A遺伝子の発現制御に関与する

○鎌田弥生^{1,2}、富永光俊^{1,2}、本田耕太郎¹、Catharina Sagita Moniaga¹、古宮栄利子¹、外山扇雅¹、高森建二^{1,2,3}

¹順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所・順天堂かゆみ研究センター、²順天堂大学大学院医学研究科抗加齢皮膚医学研究講座、³順天堂大学医学部附属浦安病院皮膚科

休憩 13:45~14:00

エキスパートフォーラム 14:00~14:20

E1 胃NHPH陽性症例胃粘膜における菌体分布—感染マウスとの比較—

○中村正彦¹、松井英則²、鈴木秀和³

¹北里大学薬学部微生物薬品製造学、²北里大学北里生命科学研究所、³東海大学医学部消化器内科

E2 アトロピンは胆汁の胃内逆流によりマウスNSAIDs胃幽門前庭部潰瘍を増悪する—5-HT₃受容体の関与について

○佐藤宏、漆谷徹郎

同志社女子大学薬学部病態生理学研究室

テクニカルセミナー 14:20~15:00

「腸内環境マーカー探索を目指したペプチドミックスの試み」

小寺 義男

(北里大学理学部物理学科物性物理学研究室)

表彰式/閉会の辞 15:00~15:15

代表世話人:樋口 和秀

当番世話人:市川 尊文